

Case1

北陸税理士会 高岡支部所属 坂野上 満先生

Profile

性別 男性

出身 富山県高岡市

税理士登録 平成 11 年 (29 歳)

開業 平成 14 年 (32 歳)

事務所 HP <http://www.sakanoue-zeimu.com/>

経歴 平成 4 年 大学卒業後、富山県のプラスチック製造会社に就職し、2 年半勤務。

平成 7 年 資格取得に専念するために会社を退職。

平成 9 年 残り 1 科目のとき、県内の会計事務所に入所。

平成 14 年 富山県高岡市にて独立開業。

準備したもの・こと

▶ 土地

「どこ」で開業するか

生まれ育った富山県高岡市で開業を決意。周辺は地価が安いいため、土地を購入し事務所を建てることにしました。第一種低層住宅地域である自宅周辺を避け、先輩税理士のいない地域を探しました。

Point! 自宅と事務所は別の方が良い

特にお客様を招く場合、家族の生活音や雰囲気が緊張感を削ぐため、自宅と事務所は別の建物にすることをお奨めします。

困ったこと

▶ 顧客獲得

学生時代の友人や地域の知人を顧客として見込んでいましたが、開業の挨拶葉書きへの反応はほとんどありませんでした。当初の顧客は法人 1 社、個人 3~4 名。暇を持て余し、当時開催されていた日韓 W 杯を毎日観戦していました。

Point! 「恩人さん」の存在

当時 30 代に差し掛かったばかりだったということもあり、自分のことを可愛がってくださる方が何人かいらっしゃいました。その方と一緒に活動しているうちに、紹介等で顧客が徐々に増えていきました。

実際に開業してみた

▶ 職員の採用と事務所の増築

そのうち仕事の量が増え、職員を採用することになりました。その際問題になったのは事務所の面積です。現在の 4 分の 1 の広さしかなく、2 人以上雇うとなると増築が必要でした。開業当初に資金面で苦労したこともあり、とても躊躇しましたが思い切って事務所を増築しました。

新規開業者に一言

▶ “税理士業” に縛られずにチャレンジしてほしい

最初のうちは難しいかもしれませんが、だんだんと自分の仕事が「世の中の一部として機能しているんだ」と思えるようになると仕事が楽しくなると思います。私は今、ローカルラジオ局への出演や事務所主催セミナーなど、従来の税理士業の枠を超えた活動をしています。あまりコストのかからない範囲で、失敗しながら顧客のニーズにマッチするものを探してみてください。